

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 27日 職員:4名 回答率:100% 事業所名 子ども療育センターのびのび

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		・利用人数や年齢等も考慮し、グループ分けを行うこともある。 ・活動内容や環境設定を工夫している。	・成長に応じて、配慮して個別コーナーの座席決めを行う。
	2 職員の配置数は適切である	4		・利用人数に応じた配置数で、業務の円滑化に努めている。	・利用人数によっては、職員数の増も検討していく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		・全職員でフィードバックを行い各職員の視点からの意見を次の活動計画に活かしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・情報を持ち寄り、関係資料や動画なども活用し、資質の向上に努めている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4		・利用児の実態に合わせた活動や、経験してほしい取り組みを検討し、プログラムを組んでいる。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		・日々、利用児や来所時間等に合わせて検討し設定している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・個別の目標や課題等を踏まえ、役割分担を行い、利用児が安心して活動できるよう体制を整えている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・全職員で活動のフィードバックを行い、次の活動計画に活かしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・事業所全体で意見を出し合い、定期的に記録様式を点検、変更など行っている。	・今後も、より良いサービスの提供に向け、検討や改善を重ねていきたい。
関係機関や保	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	4			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		・送迎時や連絡帳等も活用し、情報共有に努めている	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4			
関係機関や保	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		・積極的に協力している	・徐々にケースが増えてきているので、引き続き情報提供を行う

保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	・利用日以外の日にも、放課後児童クラブを利用している利用児もいる。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4		・責任者のみ参加	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・送迎時や連絡帳を活用し、共通理解に努めている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	・連絡帳の記入や面談の際に、できる限りその観点から、保護者への声掛けを行っている。 ・参考資料の配布も行っている。	・普段から、相談しやすい関係構築に努め、家族サポートにもつなげていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	・コロナ禍で一端“親子のつどい”の開催を控えていた。	・今後は、実施時期や規模などを検討しながら、保護者交流の場を設けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		・散歩や散策など、近隣地域に出かける機会も設け、事業啓発に繋げていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				